

## 議 事 概 要 書

会議名称	平成30年度 第4回社会教育委員会議（定例会）
日 時	平成31年3月20日（水）午後1時30分～3時00分
場 所	防災コミュニティセンター 第1研修室
出席者	馬場委員、中村委員、宮原委員、黒河内委員、太田委員、寺田委員、山崎委員、中山委員（欠席：高見委員、茅原委員） 事務局：笠原教育長、馬場次長、小松生涯学習課長、矢澤生涯学習係長、福澤
議 題	下記のとおり
議 事 内 容	
<p>1 開会（小松課長） 本年度最後の会議になるがよろしくお願ひしたい。</p> <p>2 あいさつ（笠原教育長） 社会教育委員のみなさんには地域で行われている様々な社会教育関連の事業に関わっていただいている。また公民館を主体とする行事も支えていただいております、この1年の取り組みに感謝している。本日は本年度の取り組みをまとめ、次年度への取りくみについて考える会となっている。8月にご検討いただいた教育委員会の職務権限の移管についての報告もある。また成人式についてもごく日常的な感覚で結構なので、みなさんに意見交換をお願ひしたい。盛りだくさんの内容だが是非お願ひしたい。</p> <p>（馬場会長） 日頃、教育長はじめ教育委員会事務局のみなさんにはお世話になっている。今日は基本構想の進行管理ということだが、その中で「中尾歌舞伎」が復活したが、松田前教育委員長より社会教育委員へボランティアの依頼があったのでよろしくお願ひしたい。今日はイベント参加報告等盛りだくさんだが、次年度へ繋げる平成最後の委員会なので、是非皆さんのお知恵をお借りしたい。</p> <p>3 会議事項（進行：馬場会長） （1）伊那市生涯学習基本構想の進行管理について 資料にそって矢澤係長より説明。 《質疑》 寺田委員：区長からの報告で区として昨年防災グッズを200万円かけて整備した。そういうことをもっと情報発信していかないとみんな知らないと思った。 太田委員：防災に関しては南海トラフが直近の問題で、地区別にアクションを起こしていく時だと思う。昨年、自分の地区で市のおでかけ講座をお願ひした。少しでも防災の意識を高めていかなければならない。 馬場次長：市の取り組みだが、住民への意識づけというところで、自主防災組織があるが、区の役員の方々は毎年変わってしまう。自主防災組織を役員の方々と別に組織立てていかなければならず、すでにそうしている地区もあるがまだ一部あり、その動きを横へと広げていくことが必要で、自主防災組織の集まりを始めたところである。実際発災したときに動け</p>	

るような組織づくりを危機管理課で調整している。

馬場会長：中央区は早い時期に率先して取り組んできていた。狐島区でも取り組みを始めたところ。市全体に広がっていけば良いと思う。

山崎委員：郷土食を子どもへ伝える活動は、子どもが喜ぶのはもちろんだが、親にも喜ばれている。子どもが作ったものを持って帰って家族に伝えるととても喜ばれる。「信州型コミュニティスクール」という学校の活動のひとつ。

寺田委員：地域社協でも同じような取り組みをしている。いろんな組織で子どもと関わる活動をしている。

馬場会長：高校を卒業して一人暮らしをした時に自炊できるような子が育ってほしい。

黒河内委員：食育は伝統食や郷土食を大切に伝えている。そういった食べ物や季節の行事等を広げていくにはどうしたら良いか今後考えていきたい。

捧課長：昆虫食については県も後押しをしてくれている。後継者不足や原材料の収穫量の減少などの問題があるが、広く興味を持ってもらえていると思う。

(2) 社会教育委員関係事業 平成30年度報告と平成31年度予定について  
資料にそって矢澤係長より説明。

(3) 社会教育委員の提言について

資料にそって矢澤係長より山崎委員からの提言について説明。山崎委員より提言内容について補足説明。捧課長から回答を説明。

《質疑》

寺田委員：歴史博物館のアーカイブ化は終わったということでよいのか。

小松課長：次々と資料をいただいているのでまだまだ道半ば。ボランティアスタッフをお願いしたい。

笠原教育長：学校や区の公民館にも貴重な資料はたくさんある。美篤小の資料はアーカイブ化したが、膨大な時間と人の手が必要となった。膨大な資料の整理が追いつかず、こうしている間にも貴重な資料が失われてしまっている。地域の大切な宝なので何とかしたいと思う。

馬場会長：ちゃんとした設備で保存するのは大切なことだと思う。専門スタッフが必要なのではないか。

捧課長：創造館にも専門スタッフはいるが人手が足りない。なんとか要望に応えられるようにしたい。

山崎委員：アーカイブ化しても人の目に触れなければ意味がない。ただの保存になってしまう。

捧課長：検索ができて、すぐに必要な資料が見つけれられるような仕組みにしていきたいと思う。

馬場会長：すべてを完成させるのは時間がかかると思うが、できたところから整えていただき、広く利用できるようにしていただきたい。

(4) イベント参加報告（各委員から）

(5) 平成30年度社会教育委員活動を振り返って（委員から）

それぞれ各委員から感想等を発言

中山委員：中尾歌舞伎の化粧スタッフ講座に参加した。地域間、世代間の交流が促進できればと思う。

独身男女が集まって出会いの場になれば良い。

小松課長：出会いサポートセンターの事業に公民館事業、図書館、博物館がいっしょにできればよいと思う。

黒河内委員：地域の学校、地球の学校では子どもの成長を感じた。消防音楽隊音楽祭では市内の中学全部の吹奏楽部の演奏が聴けて良かった。仕事を持っているので、土日に地域の行事に参加して役に立ちたいと思う。

宮原委員：卒業式に出席させてもらったが、みんな立派だった。さくら大学の講師の先生は地域の方ではないが高遠を良く知っていて感心した。年度の途中から特別支援学級に入ることになったのだが、良い経験をさせてもらった。多くの先生方にも経験し学んでほしいと思う。

太田委員：イベントは子ども凧揚げ大会が良かった。社会教育委員として1年間良い勉強をさせてもらった。評価については長谷公民館の改修がD評価となっているが、民間では当たり前のこと。評価はDだがやらなかったという判断は正しいと思うので、評価の方法を見直してほしい。

寺田委員：成人式について20歳の成人式はちょうど良いと思う。18歳の成人式は意味合いが変わる。長谷の縁側、カレーフェスは地域がまとまっているなど感じた。こうことが他地域へ広がっていくと良いと思う。

山崎委員：教員の働き方改革でいろんな意見が出てくる。信州型コミュニティスクールで今でもいろいろ関わっているが、テストの採点や給食の配膳のお手伝いなどの要望がすでにあがっていると聞く。びっくりしたが今後そうなっていくんだろうと思っている。井の中の蛙とならず伊那市全体を見て勉強していきたい。

#### 4 その他

それぞれの項目について矢澤係長より説明、案内。

#### 5 閉会（中村副会長）

生涯学習については子どもから高齢者まで多岐にわたっているが、生涯学習を取り巻く環境や学習の場がより発展するよう期待したい。